

資 料

信州大学農学部附属演習林気象データ

— 1986年1月～1986年12月 —

橋爪克次・宮崎敏孝

信州大学農学部 森林工学科

凡 例

観測諸元

表1 観測所位置

観測所名	手良沢山	西 駒
北 緯	35°53'15"	35°49'22"
東 経	138°02'50"	137°51'54"
海 抜	990 (m)	1,235 (m)

表2 観測・記録計器の仕様

計 器 部 位	気 温 ・ 地 温	降 水 量
受 感 部	測温抵抗体 JIS Pt 100Ω 0°C class 0.5	パイプヒーター付転倒ます型 口径200mm 0.5mm/1 接点 ヒーター300W
記 録 部	型式名称 AD変換器 データ分解能 記録形式 記録インターバル	デジタルカセットデータロガー 12ビット/8ビット 2048分の1/256分の1±1/2 LSB PE方式800BPI±4% JIS-C6281 1データ/150sec

読取・集計の基準

- (I) 時間の区切: 水晶発信ICによる計時の10分ごと
 (II) 気温・地温: デジタル値を換算, 0.1°C単位でプリントアウト。
 (III) 降水量: 0.5(mm)×各1時間のパルス数とする。
 (IV) 時間の修正: 自記紙に指示が記入されている場合にはそれに従って時刻線を移動させて読取る。

(I) 気 温: (II) 地温: 地下10cm

- (a) 平均気温: 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24時の8回記録値の平均値
 (b) 最高気温: 当日0時02.5分より翌日0時までの10分ごとの最高の記録値
 (c) 最低気温: 前日0時02.5分より当日0時までの10分ごとの最低の記録値
 (d) 9 時: 当日9時の記録値

(II) 降 水 量

- (a) 日 量: 当日0時02.5分より翌日0時までの1時間ごとの読取値の合計
 (b) 時間最大: 当日0時02.5分より翌日0時までの1時間ごとの読取値の最大値

(III) 欠 測: (a) 停電による欠測(×a) (b) 計器の修理, 調整による欠測(×a) (c) 記録打点の乱点(×c)

(d) 記録紙の繰出し不良(×d), 交換ミス(×d') (e) インクの過不足(×e)

(IV) 平均, 計, 極値: 気温, 地温については平均値を, 日降水量は合計を, 時間最大降水量は極大値を, それぞれ, 月, 上旬, 中旬, 下旬について算出した値, ・を付したのは欠測を含む場合を●は近接観測点のデータを示す。

注) この資料の自記紙の読取, 集計は橋爪, が行なったが, 計測器の保守, 記録紙・インクの交換, 補充は林, 唐木(義), 安積, 那須野, 唐木(武), 清水の演習林職員によって行なわれている。

Table with columns for month (9, 10), species, and weather metrics (temperature, humidity, precipitation). Rows 1-20 for month 9, 21-31 for month 10, and summary rows at the bottom.

Table with columns for month (11, 12), species, and weather metrics (temperature, humidity, precipitation). Rows 1-20 for month 11, 21-31 for month 12, and summary rows at the bottom.